

古開作 浸水区域

ため池 諸元

総貯水量 138,000m³

堤高 3.0m

1:10,000

古開作ため池

【緊急連絡先】

山陽小野田市経済部
農林水産課耕地係

☎ TEL 0836-82-1157

上流域の雨量や河川水位にもご注意ください。

雨量・河川水位情報

山口県土木防災情報システム
パソコン用

<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/>

携帯用

<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/>

下関地方気象台

<http://www.jma-net.go.jp/shimonoseki/>

気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

凡例



ため池



緊急避難場所

浸水深

0.2m未満の区域

大人の膝までつかる程度

0.2m～0.5m未満の区域

0.5m～1.0m未満の区域

大人の腰までつかる程度

1.0m～2.0m未満の区域

1階の軒下まで浸水する程度

2.0m～3.0m未満の区域

2階の床下まで浸水する程度

3.0m～5.0m未満の区域

2階の軒下まで浸水する程度

5.0m以上の区域

2階が水没する程度

0 1,000 m

ため池ハザードマップ

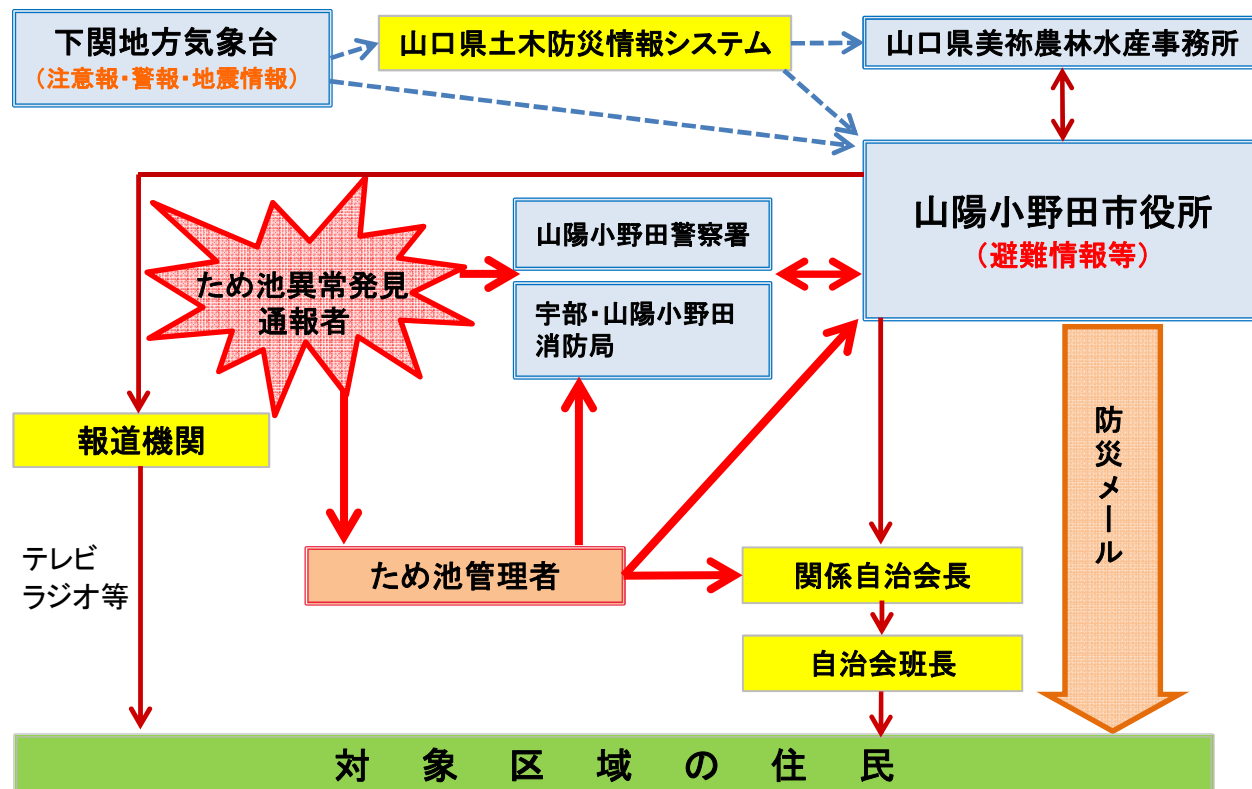
保存版

このハザードマップは、大雨や地震により、ため池が危険となった場合、みなさんが安全に避難出来るために必要な情報が記載されています。
あなたが住んでいる地区の被害想定区域を把握し、ため池の異常を発見した場合や市から避難情報等が出されるなど、ため池による災害のおそれがあるとわかった場合には、速やかに避難して下さい。
なお、地図に示した区域以外のところも状況によっては、浸水する可能性がありますので、注意して下さい。

農業用ため池の役割

- 水田などの農業用水に
水は土とともに農業の基盤であり、古くから農業用水を確保するため造られてきました。
- 豊かな自然の生態系に
水質浄化に役立つ水生植物や魚類、水鳥や昆虫類など多種多様な生物の生息の場となっています。
- 安らぎ空間に
ため池周辺は、自然環境に恵まれ、樹木が茂り、水鳥や小動物との出会いがあります。誰もが楽しみ、心のなごむ空間となっています。

避難情報や気象情報の伝わり方



山陽小野田市防災メール

積極的に防災情報を入手し、防災メールを登録しましょう！

○山陽小野田市防災メール
(パソコン・携帯電話から) <http://e-sanyo-onoda@xpressmail.jp>



QRコード対応の携帯電話をご利用の場合は、左図からアドレスを読み取ることができます。

ため池決壊のメカニズム

決壊の主な原因

堤防の著しい変形や漏水

- ・水位急上昇等による急激な漏水量増
- ・漏水によるパイピング(水みち)の拡大や堤体の空洞化・陥没

余水吐の吐き出し能力不足

- ・流木や土砂、ゴミなどが溜まっている
- ・ブロックや板などで堰上げられている

斜樋・底樋の破損

- ・斜樋・底樋が壊れて緊急放流ができない

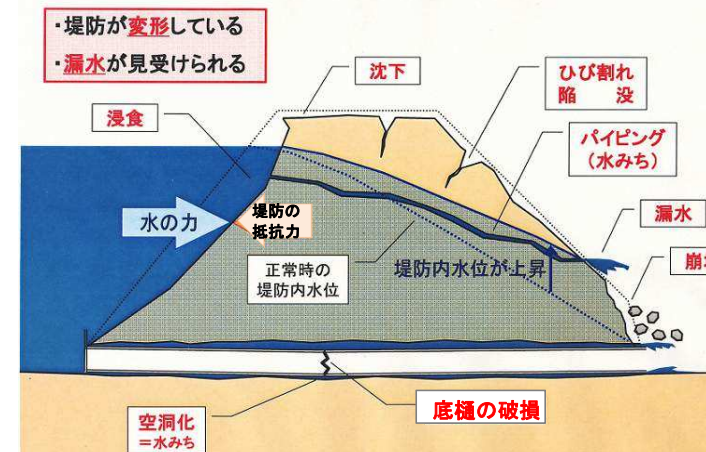
ため池内の山腹崩壊

- ・土石流が一気にため池に流入

過去に経験したことのない大雨

- ・かつてない大雨による流入水

危険なため池 どれか一つでも該当すれば要注意！



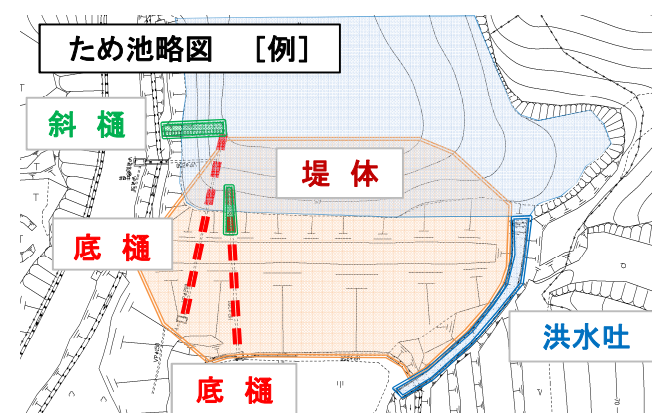
特に注意する必要がある場合

【大雨時】

- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時(震度4以上)】

- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

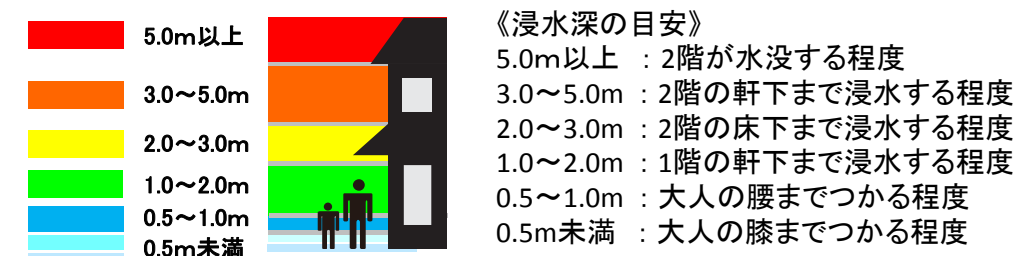


【用語の説明】

- 堤体(ていたい)
水を堰き止めるため、盛土された堤防です。
- 洪水吐(こうずいばけ)
大雨の時に、水を安全に下流に流すための水路です。余水吐とも呼ばれています。
- 底樋(そこひ)
ため池の底にある栓のようなもので、ため池を空にする時の排水口です。樋管とも呼ばれます。
- 斜樋(しゃひ)
水道の蛇口のようなもので、取水量の調節もできます。

ため池ハザードマップについて

- 浸水想定区域は、ため池が満水時に決壊した場合に浸水が想定される範囲を示しています。浸水深の目安としては、下記ようになります。



- 浸水想定区域は、あくまで目安です。気象条件等により、予想外に広がる可能性もあります。

お問い合わせ先

山陽小野田市経済部農林水産課耕地係
山口県美祢農林水産事務所農村整備部

TEL 0836(82)1157
TEL 0837(54)0030

FAX 0836(84)6937
FAX 0837(52)4110